

第1 環境への配慮のための措置及びその取組状況の評価

用途		▼選択してください▼		用途の詳細		取組状況の評価			
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)		評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
								評点	最高点
I	建築物の熱負荷の低減	建築物の形状・配置 外壁・屋根の断熱 窓部の熱負荷の低減 【01】	①建築物の形状及び配置に係る事項(例熱負荷の低減に配慮した建築物の形状及び各室の配置計画)<001>	(1)主たる外壁の仕様 位置及び方位<001>		適用する	段階1(配点0)	0	2
			②外壁及び屋根の断熱に係る事項(例優れた効果を有する断熱材及び仕上げ主たる外壁(該当するものを選択)<002>	断熱材<002>					
			▼選択してください▼	厚さ【mm】<003>	熱貫流率【W/m <sup>2</sup> ·K】<004>				
			屋根(該当するものを選択)<003>	(2)屋根の仕様 断熱材<005>					
			▼選択してください▼	厚さ【mm】<006>	熱貫流率【W/m <sup>2</sup> ·K】<007>				
			③窓部の断熱に係る事項(該当するものを選択)<004>	(3)窓部の仕様					
			▼選択してください▼	窓面積の外壁面積比【%】<008>	ブラインドの有無<010> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し				
			④窓部の日射遮蔽に係る事項(該当するものを選択)<005>	ガラスの種類<009>	日射熱取得率(η)<011>				
			<input type="checkbox"/> 庇 <input type="checkbox"/> ルーバー <input type="checkbox"/> その他						
			⑤その他の事項(例地下の断熱効果を利用した建築物の配置計画、屋根又は外壁の二重構造)<006>						
⑥PAL*の低減率【%】((B-A)/B)<007>	(1)PAL*の値【MJ/m <sup>2</sup> ·年】(A)<012>	(2)PAL*の基準値【MJ/m <sup>2</sup> ·年】(B)<013>	(参考) ※エネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値(PAL*の低減率)【%】<014>						
II	再生可能エネルギーの利用	再生可能エネルギーの 直接利用 【02】	①太陽エネルギーを利用したシステムに係る事項(該当するものを選択)<008>			適用する	(適合なし)	0	2
			<input type="checkbox"/> ライトセルフ <input type="checkbox"/> アトリウム <input type="checkbox"/> トップライト <input type="checkbox"/> その他						
			②風を利用したシステムに係る事項(該当するものを選択)<009>						
			<input type="checkbox"/> 2方向以上への開口 <input type="checkbox"/> 開口部と換気塔との連携 <input type="checkbox"/> ナイトパーズ <input type="checkbox"/> 自動制御により開口部の開閉を行う自然換気システム <input type="checkbox"/> その他						
			③パッシブソーラーシステムの利用に係る事項<010>						
			④地中熱の利用に係る事項(該当するものを選択)<011>						
			<input type="checkbox"/> クールトレンチ <input type="checkbox"/> ヒートトレンチ <input type="checkbox"/> その他						
			⑤その他の事項<012>						
			⑥再生可能エネルギーの利用に伴う年間一次エネルギー消費量の低減量 エネルギー種別<013>						
			低減量【MJ/年】<014>						
II	再生可能エネルギーの利用	再生可能エネルギーの 変換利用 【03】	①太陽光発電設備に係る事項 太陽光発電システムの利用の有無<015> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し 有りの場合利用形態(該当するものを選択)<016>	太陽光発電容量【kW】<015>		適用する	(適合なし)	0	2
			<input type="checkbox"/> 低圧連系 <input type="checkbox"/> 高圧連系 <input type="checkbox"/> 特高連系 <input type="checkbox"/> その他	設置面積【m <sup>2</sup> 】<016>					
			②太陽熱を利用したシステムに係る事項 太陽熱を利用したシステムの利用の有無<017> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し 有りの場合利用形態<018>	太陽熱利用容量【kW】<019>					
				設置面積【m <sup>2</sup> 】<020>					
			③地中熱を利用したシステムに係る事項 地中熱を利用したシステムの利用の有無<019> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し 有りの場合利用形態<020>	地中熱による容量【kW】<021>					
			④バイオマスを熱源とする熱を利用したシステムに係る事項 バイオマスを熱源とする熱を利用したシステムの利用の有無<021> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し 有りの場合利用形態<022>	(1)バイオマスを熱源とする熱を利用した発電による容量【kW】<022>					
				(2)バイオマスを熱源とする熱の利用による容量【kW】<023>					
			⑤その他の事項<023>	その他の再生可能エネルギー利用の仕様及び容量等<024>					
			⑥年間再生可能エネルギー利用量【MJ/年】<024>						

取組状況				取組状況の評価				
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
							評点	最高点
			①設備の概要 エネルギー源(該当するものを選択)〈025〉 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 都市ガス (説明) _____ <input type="checkbox"/> 油 (説明) _____ <input type="checkbox"/> 地域冷暖房 (説明) _____ <input type="checkbox"/> その他 _____ 機器の選定〈026〉 _____ ②設備機器のシステムの構築に係る事項(該当するものを選択)〈027〉 <input type="checkbox"/> 台数制御方式 <input type="checkbox"/> 変流量方式 <input type="checkbox"/> 大温度差方式による送水システム <input type="checkbox"/> 利用可能エネルギーを活用したシステム(大温度差エネルギー、下水熱エネルギー) <input type="checkbox"/> コージェネレーションシステム <input type="checkbox"/> 燃料電池システム <input type="checkbox"/> 蓄熱方式 <input type="checkbox"/> その他 _____ (コージェネレーションシステムを導入している場合) (該当するものを選択) ③形式〈028〉 <input type="checkbox"/> エンジン <input type="checkbox"/> タービン <input type="checkbox"/> 燃料電池 <input type="checkbox"/> その他 _____ ④排熱利用の有無〈029〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し ⑤利用先〈030〉 _____ (蓄熱方式を導入している場合) ⑥形式(該当するものを選択)〈031〉 <input type="checkbox"/> 水蓄熱 <input type="checkbox"/> 氷蓄熱 <input type="checkbox"/> その他 _____ ⑦蓄熱槽設置場所(該当するものを選択)〈032〉 <input type="checkbox"/> ピット利用 <input type="checkbox"/> ユニット型 <input type="checkbox"/> その他 _____ ⑧その他事項〈033〉 _____	空調面積【㎡】(A)〈025〉 _____ (1)冷熱源の容量【kW】(B)〈026〉 _____ 冷熱源の容量【kW/㎡】(B/A)〈027〉 _____ (2)温熱源の容量【kW】(C)〈028〉 _____ 温熱源の容量【kW/㎡】(C/A)〈029〉 _____ (3)熱源機器の構成(該当するものを選択)〈030〉 <input type="checkbox"/> ターボ冷凍機 <input type="checkbox"/> 吸収式冷水機 <input type="checkbox"/> GHP(ガス式ヒートポンプ) <input type="checkbox"/> EHP(電気ヒートポンプ式) <input type="checkbox"/> その他 _____ (1)発電容量【kW】〈031〉 _____ 台数〈032〉 _____ 発電効率【%】〈033〉 _____ (2)発電割合発電容量/契約電力量【%】〈034〉 _____ (3)排熱利用率【%】〈035〉 _____ (4)総合効率【%】〈036〉 _____ (1)蓄熱容量【m <sup>3</sup> 】〈037〉 _____ (2)蓄熱量【MJ】〈038〉 _____ (3)ピーク負荷日の夜間移行率【%】〈039〉 _____ ⑧その他事項〈033〉 _____	適用する ▼	段階1(配点0) ▼	0	2
		空気調和の 熱源側設備 【04】						
		空気調和の 二次側設備 【05】	①設備の概要 インテリアゾーン〈034〉 _____ ペリメータゾーン〈035〉 _____ ②空気調和負荷の低減に係る事項(該当するものを選択)〈036〉 <input type="checkbox"/> 全熱交換器 <input type="checkbox"/> 外気冷房 <input type="checkbox"/> 最小外気取入れ量制御システム <input type="checkbox"/> 居住域空気調和システム <input type="checkbox"/> その他 _____ ③送風のための動力の低減に係る事項(該当するものを選択)〈037〉 <input type="checkbox"/> 変風量方式 <input type="checkbox"/> 大温度差方式による送風システム <input type="checkbox"/> その他 _____ ④その他の事項〈038〉 _____ 空気調和設備の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】 _____ 空気調和設備の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】 _____ ⑤想定による計算の箇所の有無〈039〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し					

取組状況				取組状況の評価				
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
							評点	最高点
エネルギーの使用の合理化	III 省エネルギーシステム	設備システムの省エネルギー	機械換気設備【06】	①設備機器のシステムの構築に係る事項(該当するものを選択)〈040〉 <input type="checkbox"/> ダクトレス換気システム <input type="checkbox"/> 換気ダクト静圧の低減化 <input type="checkbox"/> 局所換気方式 <input type="checkbox"/> その他				
				②制御のシステムの構築に係る事項(該当するものを選択)〈041〉 <input type="checkbox"/> 温度センサーによる換気量制御 <input type="checkbox"/> 一酸化炭素センサーによる換気量制御 <input type="checkbox"/> その他				
				③その他の事項〈042〉				
				機械換気設備の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】				
				機械換気設備の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】				
				④想定による計算の箇所の有無〈043〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し				
			照明設備【07】	①設備機器のシステムの構築に係る事項(該当するものを選択)〈044〉 <input type="checkbox"/> LED照明 <input type="checkbox"/> Hf型照明器具 <input type="checkbox"/> ラビットスタート型 <input type="checkbox"/> 省電力型安定器 <input type="checkbox"/> その他				
				②制御のシステムの構築に係る事項(該当するものを選択)〈045〉 <input type="checkbox"/> 在室検知制御システム <input type="checkbox"/> 適正照度調整システム <input type="checkbox"/> 昼光連動制御システム <input type="checkbox"/> タイムスケジュール制御システム <input type="checkbox"/> その他				
				③その他の事項〈046〉				
				照明設備の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】				
				照明設備の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】				
				④想定による計算の箇所の有無〈047〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し				
給湯設備【08】	①設備の概要給湯方式(該当するものを選択)〈048〉 <input type="checkbox"/> 中央方式 <input type="checkbox"/> 個別方式 給湯温度〈049〉 _____℃							
	②設備機器のシステムの構築に係る事項(例配管及び貯湯槽の断熱仕様)〈050〉							
	③その他の事項〈051〉							
	給湯設備の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】							
	給湯設備の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】							
	④その他の事項(該当するものを選択)〈052〉 <input type="checkbox"/> ロープ式 <input type="checkbox"/> 油圧式 <input type="checkbox"/> その他							
昇降機【09】	②その他の事項(該当するものを選択)〈053〉 <input type="checkbox"/> インバーター制御 <input type="checkbox"/> 台数制御 <input type="checkbox"/> その他							
	昇降機の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】							
	昇降機の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】							

取組状況					取組状況の評価			
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
							評点	最高点
IV 省エネ地域における		エネルギー利用効率化設備【11】	①コージェネレーションシステム<054> ②太陽光発電システム<055> ③その他<056>	コージェネレーションシステムによる低減量【MJ/年】(E(C))《040》 太陽光発電システムによる低減量【MJ/年】(E(S))《041》 その他の設備による低減量【MJ/年】(E(O))《042》	適用する	(適合なし)	0	2
		全体	特定建築物の住宅以外の基準一次エネルギー消費量【GJ/年】(A)<057> 設備システム全体のエネルギー利用の低減率(ERR)【%】<059> ※(その他一次エネルギー消費量は除く) (参考) ※エネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値(ERR)【%】<060>	特定建築物の住宅以外の設計一次エネルギー消費量【GJ/年】(B)<058>				
		地域冷暖房等【13】	①地域冷暖房区域の指定の有無<061> ②地域冷暖房の熱の受入れの有無<062> ③地域冷暖房区域の名称<063> ④②のほか複数の建築物間で行う効率的なエネルギー利用(例 熱融通)<064> ⑤利用可能エネルギーを利用したシステム<065> ⑥契約容量 蒸気【kW】<066> 温水【kW】<067> 冷水【kW】<068> ⑦地域エネルギー供給事業者から受け入れる熱のエネルギー効率の値<069>	○有り ●無し ○有り ●無し				
		最適運用のための計量及びエネルギー管理システム【14】	①評価の対象となる熱源方式(該当するものを選択)<070> ②ガス、電力及び冷温熱のエネルギーの量の計量設備の系統別の設置に係る事項 ③BEMSの導入に係る事項 ④その他の運用上の事項<077>	集中検針 データ出力機能 タイムプログラム制御 イベントプログラム制御 リモート制御 一覧出力 日・月・年単位ごとの出力 トレンドグラフ表示 機器の履歴管理 稼働実績管理・警報データ管理 最適化制御 フィードバック・フィードフォワード エネルギー消費分析及び管理	適用する	段階1(配点0)	0	2

取組状況				取組状況の評価					
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価		
							評点	最高点	
V	効率的な運用のしくみ	最適運用のための運転調整と性能の把握【15】	①年間一次エネルギー消費量の予測値【MJ/m <sup>2</sup> ・年】<078>		適用する	(適合なし)	0	2	
			・予測値の設定方法<079>						
			②特定建築物の運用計画に基づく建築設備の稼働条件						
			年間稼働日数【日/年】<080>	日平均稼働時間【h/日】<081>					
			単位面積当たりの照明・コンセント設備の負荷【W/m <sup>2</sup> 】<082>	熱源側設備等の全負荷相当運転時間【h/年】<083>					
			その他の事項<084>						
			③ 年間一次エネルギー消費量の予測及び実測を行う旨の委託契約書等への明記<085>						
			<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し						
			④ 空調設備及び機械換気設備の年間一次エネルギー消費量の予測及び実測の計画<086>						
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し						
			⑤ 次の設備におけるエネルギー利用の効率の算定の計画の有無に係る事項						
			熱源設備のエネルギー消費効率<087>	対象機器<043>					
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<044>					
			熱源機器のエネルギー消費効率<088>	対象機器<045>					
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<046>					
			熱源機器の負荷率<089>	対象機器<047>					
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<048>					
			冷温水又は冷却水を搬送する設備の水搬送効率<090>	対象機器<049>					
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<050>					
			空調設備における空気搬送効率<091>	対象機器<051>					
<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<052>								
全熱交換器における熱交換効率<092>	対象機器<053>								
<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	範囲<054>								
⑥ その他の設備におけるエネルギーの使用の合理化に関する性能の把握に係る調査<093>									
⑦ 設備機器及び制御機器の運転及び調整に関する事項並びに空調設備及び機械換気設備における年間一次エネルギー消費量の予測及び実測を行う旨の委託仕様書等への明記<094>	(1) 調整を行う時期及び実施箇所<055>								
<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(2) 調整を行う設備機器<056>								
	(3) 調整の方法の概要<057>								
VI	エコマテリアル	再生骨材等利用【16】	①再生骨材等を利用したコンクリート等の使用の有無<095>		評価を行わず	-----			
			<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し						
			②①の種類(該当するものを選択)<096>						
			<input type="checkbox"/> 再生骨材 <input type="checkbox"/> その他						
		③①の利用部位(該当するものを選択)<097>							
		<input type="checkbox"/> 捨てコンクリート <input type="checkbox"/> 工物に用いられる現場打ちコンクリート又はコンクリート製品 <input type="checkbox"/> その他							
		混合セメント等利用【17】	①混合セメント等の利用の有無<098>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し		適用する	(適合なし)	0	1
			②①の種類(該当するものを選択)<099>						
			<input type="checkbox"/> 高炉B種 <input type="checkbox"/> 高炉C種 <input type="checkbox"/> フライアッシュB種 <input type="checkbox"/> フライアッシュC種 <input type="checkbox"/> その他						
		③①の利用部位<100>							
リサイクル鋼材利用【18】	①リサイクル鋼材の利用の有無 ※鉄筋を除く<101>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し		適用する	(適合なし)	0	1		
	②①の構造用材料への利用の程度(該当するものを選択)<102>	<input type="radio"/> 大半の部位に利用 <input type="radio"/> 特定の部位に利用							
③①の利用部位<103>									
エコマテリアル利用【19】	▼▼選択してください▼▼								

			取組状況		取組状況の評価					
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価			
							評点	最高点		
資源の適正利用	VII オゾン層保護及び地球温暖化の抑制	断熱材用発泡剤 【20】	①主として使用する断熱材の種類<104>		適用する	(適合なし)	0	2		
			②①の利用部位(該当するものを選択)<105>	<input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> その他						
			③①のうち、発泡剤を利用している断熱材の有無<106>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し						
			④発泡剤の種類(該当するものを選択)<107>	▼▼選択してください▼▼	(1)オゾン層破壊係数<058>					
					(2)地球温暖化係数<059>					
	VII 長寿命化等	維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保 【22】	①採用した空調設備の冷媒の種類(該当するものを選択)<108>	▼▼選択してください▼▼	(1)冷媒の量【kg】<060>	適用する	(適合なし)	0	1	
				利用場所<109>	(2)オゾン層破壊係数<061>					
					(3)地球温暖化係数<062>					
				②採用した空調設備の冷媒の種類(該当するものを選択)<110>	▼▼選択してください▼▼	(1)冷媒の量【kg】<063>				
				利用場所<111>	(2)オゾン層破壊係数<064>					
					(3)地球温暖化係数<065>					
VII 長寿命化等	躯体の劣化対策 【23】	①維持管理の容易性に係る事項(例設備のための維持管理のルート又はスペースの確保、設備の集約化及び予備スペースの確保、設備機器更新の容易性の確保)<112>			適用する	(適合なし)	0	2		
			②更新、改修、用途の変更への対応に係る事項<113>	(1)階高(基準階部分)【m】<066>						
				(2)天井高(基準階部分)【m】<067>						
				(3)OAフロア高(基準階部分)【cm】<068>						
			階高【m】<114>	(4)設計荷重(基準階部分)【N/㎡】<069>						
			設計荷重【N/㎡】<115>							
モジュール化<116>										
VII 長寿命化等	躯体の劣化対策 【23】	①水セメント比に係る事項<117>	%以下		適用する	(適合なし)	0	1		
			②かぶり厚さに係る事項(該当するものを選択)<118>	▼▼選択してください▼▼						
			③躯体の保護に係る事項(該当するものを選択)<119>	<input type="checkbox"/> 外装の塗装または吹きつけタイル <input type="checkbox"/> タイル貼りまたはモルタル塗り <input type="checkbox"/> その他						
			④鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造以外の構造における躯体の耐久性の向上に係る事項<120>							
			①構造材の再利用及び再生利用に係る事項<121>		適用しない	-----				
			②内装材及び外装材の再利用又は再生利用に係る事項<122>							
IX 水循環	雑用水利用 【25】	①雑用水の利用の有無<123>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(個別循環方式、地区循環方式又は雨水利用方式の場合)	評価を行わず	-----				
			②雑用水の利用方式(該当するものを選択)<124>	<input type="checkbox"/> 個別循環 <input type="checkbox"/> 地区循環 <input type="checkbox"/> 広域循環 <input type="checkbox"/> 工業用水利用 <input type="checkbox"/> 雨水利用	(1)処理方式(該当するものを選択)<070>					
			③広域循環方式による再生水の供給区域の内外<125>	<input type="radio"/> 内 <input checked="" type="radio"/> 外	<input type="checkbox"/> 沈砂 <input type="checkbox"/> 生物処理 <input type="checkbox"/> 膜処理 <input type="checkbox"/> オゾン処理 <input type="checkbox"/> 活性炭処理 <input type="checkbox"/> 砂ろ過 <input type="checkbox"/> その他					
			供給エリア名<126>		(2)計画水量【m3/日】<071>					
			④原水種別(個別循環方式、地区循環方式又は雨水利用方式の場合)(該当するものを選択)<127>	<input type="checkbox"/> 洗面所及び給湯室排水 <input type="checkbox"/> 冷却水 <input type="checkbox"/> 厨房排水 <input type="checkbox"/> プール排水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> その他	(雨水利用の場合のみ) (3)貯留槽(沈砂槽含む)容量【m3】<072>					
			⑤利用先(該当するものを選択)<128>	<input type="checkbox"/> 便所洗浄水 <input type="checkbox"/> 散水用水 <input type="checkbox"/> 修景用水 <input type="checkbox"/> その他	集水面積【㎡】<073>					

取組状況					取組状況の評価					
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価			
							評点	最高点		
自然環境の保全	IX 水循環	雨水浸透【26】	①敷地の状況 地形(例平坦、やや傾斜)〈129〉	(1)雨水浸透量【m <sup>3</sup> 】〈074〉	評価を行わず	-----				
			地質(例砂れき、粘土)〈130〉	(2)雨水浸透の能力【mm/時】〈075〉						
		地下水位(例GL-〇m)〈131〉								
		②雨水浸透の方法(該当するものを選択)〈132〉 <input type="checkbox"/> 雨水浸透ます <input type="checkbox"/> 雨水浸透トレンチ <input type="checkbox"/> 透水性舗装 <input type="checkbox"/> 地表面の緑地化 <input type="checkbox"/> その他								
	X 緑化	緑の量の確保【27】	①地上部における樹木の植栽等に係る事項(主な樹種等)〈133〉	(1)地上部の樹木の植栽等のなされた部分の面積(A)【m <sup>2</sup> 】〈076〉	適用する	(適合なし)	0	2		
				(2)建築物上の樹木、芝、草花等の植栽のなされた部分の面積(B)【m <sup>2</sup> 】〈077〉						
				②建築物上における樹木、芝、草花等の植栽に係る事項(主な樹種等)〈134〉	(3)総緑化面積【m <sup>2</sup> 】(A+B)〈078〉	(5)総緑化面積の敷地面積に対する割合(敷地緑化率)【%】((A+B)/C)〈080〉				
				(4)敷地面積【m <sup>2</sup> 】(C)〈079〉						
		緑の質の確保【28】	①建築物上における樹木の量の確保に係る事項(主な樹種等)〈135〉	(1)建築物上の樹木の植栽のなされた部分の面積(D)【m <sup>2</sup> 】〈081〉	適用する	(適合なし)	0	2		
(2)点数【点】〈082〉				(4)建築物上の樹木の植栽のなされた部分の面積の建築物上の緑化面積に対する割合【%】(D/E)〈084〉						
(3)建築物上の緑化面積【m <sup>2</sup> 】(E)〈083〉										
②高木の植栽に係る事項(主な樹種等)〈136〉				(1)高木の植栽のなされた部分の緑化面積(F)【m <sup>2</sup> 】〈085〉	(3)高木の植栽のなされた部分の面積の総緑化面積に対する割合【%】(F/(A+B))〈087〉					
(2)点数【点】〈086〉				(4)5mを超える高木の植栽の有無〈088〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し						
③既存の樹木の保全に係る事項(主な樹種等)〈137〉	(1)既存の樹木の植栽のなされた部分の面積【m <sup>2</sup> 】〈089〉	幹周り1m以上の大径木の保存の有無〈091〉 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し								
	(2)点数【点】〈090〉									
	合計点【点】〈138〉	0								
	動植物の生息・生育環境への配慮【29】									
	連続した緑の形成【30】									
	樹木・芝・草花等の維持管理への配慮【31】									

項目	点数
建築物上樹木	0
高木	0
既存樹木	0
計	0
評価	適合なし

取組状況					取組状況の評価						
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価				
							評点	最高点			
ヒートアイランド現象の緩和	XI ヒートアイランド現象の緩和	建築設備からの人工排熱対策【32】	建築設備からの人工排熱の低減に係る事項(例排出高さ等の配慮等)【139】	(1)延べ面積当たりの人工排熱顕熱量【MJ/㎡・日】《092》	評価を行わない	-----					
				(2)延べ面積当たりの人工排熱全熱量【MJ/㎡・日】《093》							
		敷地と建築物の被覆対策【33】	敷地と建築物の被覆に係る事項 地上部の被覆材に係る事項(該当するものを選択)【140】	<input type="checkbox"/> 緑化(樹木、草本、芝)による対策 <input type="checkbox"/> 緑化のうち蒸発効率の低い植物による対策 <input type="checkbox"/> 水面による対策 <input type="checkbox"/> 保水性被覆材による対策 <input type="checkbox"/> その他	(1)緑地による対策評価面積【㎡】(G)《094》	適用する	(適合なし)	0	2		
					(2)水面による対策評価面積【㎡】(H)《095》						
					(3)保水性被覆材による対策評価面積【㎡】(I)《096》						
					(4)高反射率被覆材による対策評価面積【㎡】(J)《097》						
					建築物上の被覆材に係る事項(該当するものを選択)【141】					総対策評価面積【㎡】(G+H+I+J)《098》	0.00
					敷地面積【㎡】(C)《099》					総対策評価面積の敷地面積に対する割合(対策率)【%】 ((G+H+I+J)/C)《100》	
		風環境への配慮【34】	望ましい風環境の確保を図るために行う建築物の形状及び配置に係る事項【142】		(1)見付幅【m】(K)《101》	(4)夏の主風向に直交する最大空地幅【m】(M)《104》	評価を行わない	-----			
					(2)夏の主風向に直交する最大敷地幅【m】(L)《102》						(5)最大高さ【m】(N)《105》
					(3)見付幅比(K/L)《103》	(6)最大空地幅比(M/N)《106》					

- 備考
- 取組状況の欄中「[ ]」には該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
  - 詳細(容量、仕様、規模等)の欄中◎印の欄には、該当する数値について算出している場合に記載すること。
  - 取組状況の評価の欄中適合状況の欄には、評価基準に適合している場合に、○印を記載するとともに、評点の欄には、細区分ごとの配点の合計を記載すること。また、当該基準の適用がない場合は適合状況の欄に「適用がない」と記載し、別表第3に掲げる細区分について当該基準による評価を行わない場合は「評価を行わない」と記載すること。
  - 最高点の欄中「( )」には、当該特定建築物で想定される最高点を記載すること。
  - ※の記載は、条例第17条の4の規定によるエネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値を設定すべき場合に限る。

第2 環境への配慮のための措置の概要

<p>○PAL*計算方法:「通常計算法」、「モデル建物法」、「BEST」【該当する計算法以外を削除してください】 通常入力法、主要室入力法、モデル建物法 プログラムver:「Ver1」、「Ver2」【該当するプログラムのVer以外を削除してください】</p> <p>○一次エネルギー消費量計算方法:標準入力法、主要室入力法、モデル建物法、BEST【該当する計算法以外を削除してください】 通常入力法、主要室入力法、モデル建物法 プログラムver:「Ver1」、「Ver2」【該当するプログラムのVer以外を削除してください】</p> <p>【その他、特に配慮した事項を以下に記載してください】</p>
--

備考 設計上の基本方針、維持管理計画、設計及び維持管理計画上の制約等、特に配慮した事項を記載すること。

第3 棒グラフによる環境配慮の措置の評価

		評点	最高点
I 建築物の熱負荷の低減	建築物の形状・配置 外壁・屋根の断熱 窓部の熱負荷の低減	0点	2点
II 再生可能エネルギーの利用	再生可能エネルギーの直接利用	0点	2点
	再生可能エネルギーの変換利用	0点	2点
III 省エネルギーシステム	設備システムの省エネルギー	0点	2点
IV 地域における省エネルギー	地域冷暖房等	0点	2点
V 効率的な運用のしくみ	最適運用のための計量及びエネルギー管理システム	0点	2点
	最適運用のための運転調整と性能の把握	0点	2点
VI エコマテリアル	再生骨材等利用	点	評価を行わない
	混合セメント等利用	0点	1点
	リサイクル鋼材利用	0点	1点
VII オゾン層保護及び地球温暖化の抑制	断熱材用発泡剤	0点	2点
	空調設備用冷媒	0点	1点
VIII 長寿命化等	維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保	0点	2点
	躯体の劣化対策	0点	1点
	短寿命建築物の建設資材の再使用対策等	点	適用なし
IX 水循環	雑用水利用	点	評価を行わない
	雨水浸透	点	評価を行わない
X 緑化	緑の量の確保	0点	2点
	緑の質の確保	0点	2点
XI ヒートアイランド現象の緩和	建築設備からの人工排熱対策	点	評価を行わない
	敷地と建築物の被覆対策	0点	2点
	風環境への配慮	点	評価を行わない

備考 「評点」及び「最高点」の部分には、それぞれ、第1の「区分」の欄中IからIXまでごとの「評価」の欄に掲げる評点及び最高点を表示し、当該最高点に対する当該評点の割合に応じて、「グラフ表示」の部分に棒グラフを表示すること。ただし、当該基準の適用がない場合は「適用なし」と表示し、0点の場合は棒グラフを表示しないこと。